

専任教員の実務経験

氏名	資格・実務経験	教育科目
植村健一	作業療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本作業療法士協会 会員	作業療法概論 見学実習 作業療法評価学Ⅱ 人間関係論 臨床評価学 地域実習 評価実習 基礎作業療法学演習 専門作業療法学演習 臨床実習
池田真一	作業療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本作業療法士協会 会員	運動学 作業療法概論 高次脳機能作業療法学 見学実習 作業療法評価学Ⅱ 臨床評価学 地域実習 地域作業療法学 評価実習 基礎作業療法学演習 専門作業療法学演習 臨床実習
満吉幸一	作業療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本作業療法士協会 会員	作業療法評価学Ⅰ 見学実習 作業療法概論 基礎作業学 高齢期作業療法学 臨床評価学 地域実習 評価実習 基礎作業療法学演習 専門作業療法学演習 臨床実習
橋口信洋	作業療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本作業療法士協会 会員	作業療法概論 見学実習 義肢装具学 中枢神経作業療法学 末梢神経作業療法学 作業療法管理学 臨床評価学 地域実習 評価実習 基礎作業療法学演習 専門作業療法学演習 臨床実習
園屋和之	作業療法士 病院における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本作業療法士協会 会員	精神医学 作業療法概論 見学実習 精神機能作業療法学 地域実習 臨床評価学 評価実習 基礎作業療法学演習 専門作業療法学演習 臨床実習

教育課程及び授業時数

専門課程(医療分野)

(授業科目及び単位)

作業療法学科							
区分	科目	規定単位	計画	1学年	2学年	3学年	実務
			単位(時間)	単位(時間)	単位(時間)	単位(時間)	
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	教育学	2 (30)	2(30)			
		物理学	2 (30)	2(30)			
		医療倫理学	1 (15)	1(15)			
		医療統計学	2 (30)	2(30)			
		医学英語	2 (30)	2(30)			
		人間発達学	2 (30)	2(30)			
		人間関係論	6 (180)	3(90)	3(90)		○
	小計	14	17 (345)	14(255)	3(90)		
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び 心身の発達	解剖学	4 (60)	4(60)			
		運動学	4 (60)	4(60)			○
		機能解剖学	6 (120)	6(120)			○
		生理学	8 (120)	8(120)			
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	2 (30)	2(30)			
		病理学概論	2 (30)	2(30)			
		内科学	4 (60)	4(60)			
		整形外科学	4 (60)		4(60)		
		神経内科学	4 (60)	4(60)			
		精神医学	4 (60)	4(60)			○
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	地域保健福祉学	2 (30)		2(30)		
		医学概論	2 (30)	2(30)			
小計	30	48 (750)	40(630)	8(120)			
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学	3 (90)	2(60)	1(30)		○
		作業療法概論	4 (60)	4(60)			○
		基礎作業療法学演習	5 (150)			5(150)	○
		専門作業療法学演習	5 (150)			5(150)	○
	作業療法管理学	作業療法管理学	2	2 (30)		2(30)	○
	作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ	2 (60)	2(60)			○
		作業療法評価学Ⅱ	2 (60)		2(60)		○
		臨床評価学	8 (240)		8(240)		○
	作業療法治療学	発達作業療法学	4 (60)		4(60)		○
		中枢神経作業療法学	4 (60)		4(60)		○
		末梢神経作業療法学	4 (60)		4(60)		○
		精神機能作業療法学	4 (60)		4(60)		○
		高齢期作業療法学	4 (60)		4(60)		○
		高次脳機能作業療法学	2 (30)		2(30)		○
		義肢装具学	3 (60)		3(60)		○
	地域作業療法学	社会生活行為学	3 (60)		3(60)		○
		地域作業療法学	3 (60)		3(60)		○
	臨床実習	見学実習	1 (45)	1(45)			○
地域実習		1 (45)		1(45)		○	
評価実習		3 (135)		3(135)		○	
臨床実習		18 (810)			18(810)	○	
小計	57	85 (2385)	9(225)	48(1050)	28(1110)		
合計	101	150 (3480)	63(1110)	59(1260)	28(1110)		

科目名： 基礎作業療法学演習(通年) 授業形態： 講義・演習 担当教員： 植村健一・池田真一・満吉幸一・橋口信洋・園屋和之
通年 5単位

【授業概要】

過去に出題された作業療法士国家試験問題の一般磯医学系の設問を用い、作業療法の介入の根拠となる医学的知識をはじめとした知識を学び、専門作業療法学演習にて修得する作業療法の専門的知識の理解を促進していく。

【到達目標】

作業療法士国家試験問題「共通問題」に含まれる選択肢の意味を理解したうえで、類似問題の設問におおむね正答することができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1~9	過去5年の解剖学問題の回答、解説	全教員
10~11	解剖学問題確認試験とフィードバック	全教員
12~20	過去5年の生理学問題の回答・解説	全教員
21~22	生理学問題確認試験とフィードバック	全教員
23~27	過去5年の運動学問題の回答、解説	全教員
28~29	運動学問題確認試験とフィードバック	全教員
30~33	過去5年の病理学問題の回答、解説	全教員
34~35	病理学問題確認試験とフィードバック	全教員
36~41	過去5年の内科学問題の回答、解説	全教員
42~43	内科学問題確認試験とフィードバック	全教員
44~52	過去5年の神経内科学問題の回答、解説	全教員
53~54	神経内科学問題確認試験とフィードバック	全教員
55~60	過去5年の整形外科問題の回答、解説	全教員
61~62	整形外科問題確認試験とフィードバック	全教員
63~68	過去5年の精神・心理関連問題の回答、解説	全教員
69~70	精神心理関連問題確認試験とフィードバック	全教員
71~73	過去5年のリハ医学、リハ概論などのその他問題の回答、解説	全教員
74~75	リハ医学、リハ概論などその他問題の回答、解説	全教員
76	筆記試験	全教員

【授業外学修】 授業内で実施した試験問題の復習をしておくこと

【教科書名】 特に指定なし

【参考図書】 クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説2022 共通問題

【評価基準】 基礎医学、臨床医学で履修済みの類似問題による筆記試験にて6割以上の得点にて単位認定する。

【実務経験】 作業療法士 臨床経験5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 専門作業療法学演習(通年) 授業形態： 講義・演習 担当教員： 植村健一・池田真一・満吉幸一・橋口信洋・園屋和之
通年 5単位

【授業概要】

基礎作業療法学演習にて学んだ医学、医学関連知識を作業療法評価や作業療法介入に結びつけながら、作業療法専門の国家試験問題の思考プロセスを経験し、国家試験問題の正答力の強化と作業療法実践の強化に繋げる。

【到達目標】

過去の厚生労働省作業療法士国家試験作業療法専門実地問題の正当に結びつく思考プロセスを身につける
作業療法専門問題関連の幅広い知識を身につけて、関連問題が概ね正答することが出来るようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1~9	過去5年の作業療法専門(脳血管障害・他神経内科系疾患)問題の回答、解説	全教員
10~11	作業療法専門(脳血管障害・他神経内科系疾患)問題確認試験とフィードバック	全教員
12~20	過去5年の作業療法専門(作業療法評価)問題の回答、解説	全教員
21~22	作業療法専門(作業療法評価)問題確認試験とフィードバック	全教員
23~27	過去5年の作業療法専門(骨折・熱傷・整形外科疾患)問題の回答、解説	全教員
28~29	作業療法専門(骨折・熱傷・整形外科疾患)問題確認試験とフィードバック	全教員
30~33	過去5年の作業療法専門(小児・発達)問題の回答、解説	全教員
34~35	作業療法専門(小児・発達)問題確認試験とフィードバック	全教員
36~41	過去5年の作業療法専門(義肢装具・福祉用具)問題の回答、解説	全教員
42~43	作業療法専門(義肢装具・福祉用具)問題確認試験とフィードバック	全教員
44~52	過去5年の作業療法専門(頸髄損傷)問題の回答、解説	全教員
53~54	作業療法専門(頸髄損傷)問題確認試験とフィードバック	全教員
55~60	過去5年の作業療法専門(精神・心理)問題の回答、解説	全教員
61~62	作業療法専門(精神・心理)問題確認試験とフィードバック	全教員
63~73	過去5年の作業療法専門基礎問題およびその他作業療法専門問題の回答、解説	全教員
74~75	作業療法専門基礎問題確認およびその他作業療法専門問題確認試験とフィードバック	全教員
76	筆記試験	全教員

【授業外学修】 授業内で実施した試験問題の復習をしておくこと

【教科書名】 特に指定なし

【参考図書】 クエスチョン・バンク 作業療法士 国家試験問題解説2022 専門問題

【評価基準】 基礎医学、臨床医学で履修済みの類似問題による筆記試験にて6割以上の得点にて単位認定する。

【実務経験】 作業療法士 臨床経験5年以上、週1回学外臨床参加

科目名：臨床実習（後期）

授業形態：実習

担当教員：植村健一・池田真一・満吉幸一・橋口信洋・園屋和之

通年 18単位

【授業概要】

臨床実習施設に入院あるいは外来通院されている症例への臨床実習指導者の臨床介入場面に参加する

【到達目標】

臨床実習を通じて作業療法士の役割と基本的態度、チームアプローチの実際を学ぶ

対象者の改善課題整理と目標設定、必要なプログラム立案ができるように評価能力を身につける

プログラム実施を通じて治療・指導・援助ができる技能を身につける、プログラムの効果を判定する能力を身につける

【授業の進め方】

授 業 内 容
オリエンテーション
事前学習
情報収集
評価計画立案
評価実施（見学・模倣・実施）
問題点の抽出
問題点相互関係の整理・分析・焦点化
目標設定
治療計画立案
治療の実施
再評価
症例報告
実習の振り返り
実技練習（OSCE 客観的臨床能力試験：仮想事例を利用した問題点・目標・治療計画立案）

【授業外学修】

予習：実習に臨む前に、該当する教科書・資料等を確認し、必要な実技の練習を行う。（約1時間）

復習：実習内容を整理し、振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】

【参考図書】

【評価基準】

長期実習（前期：80点 後期：80点）平均点 + 客観的臨床能力試験 計100点

【実務経験】

作業療法士、病院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加